

助けあい 温もりの まちづくり

秩父市合併検証特集

～合併後3年半(短期間)で現れた効果・成果を中心に～



市町村合併して
新しい秩父市になったけど
僕たちの生活に何か変化が
あったのかな？



合併によって
行政や暮らしにどんな
効果があったのか検証して
みましょう！



秩父市長
栗原 稔

市長あいさつ

秩父市は、平成17年4月に合併して生まれ変わり、新しい時代の幕を開けました。市民の皆様のお力添えにより、秩父地域の中心都市として着実に歩みを進めていることに対し、心より感謝を申し上げます。

大きな社会構造の変化など、地方自治体をめぐる環境は厳しい状況ではありますが、本市ではチャレンジ80プランなどの行財政改革を推進し、健全な行政経営に努めています。その内容については、事務事業評価やまちづくりマニフェストの公表により皆様と情報を共有してまいりました。

今回、合併後3年半が経過しましたので、合併の効果・成果について検証し、ここに公表させていただきます。

私は、合併によって生み出される財源は、これからの主役である子どもたちの育成のため、まず教育施設の充実をはじめとする「人づくり」施策に重点的に投資を進め、さらには、健康福祉サービスの向上のために努めてまいりました。

今後も合併のメリットを最大限に活かせるよう配慮しながら、市民の皆様とともに「助けあい 温もりの まちづくり」に努力してまいります。

合併して
よかった!

合併は最大の行政改革!

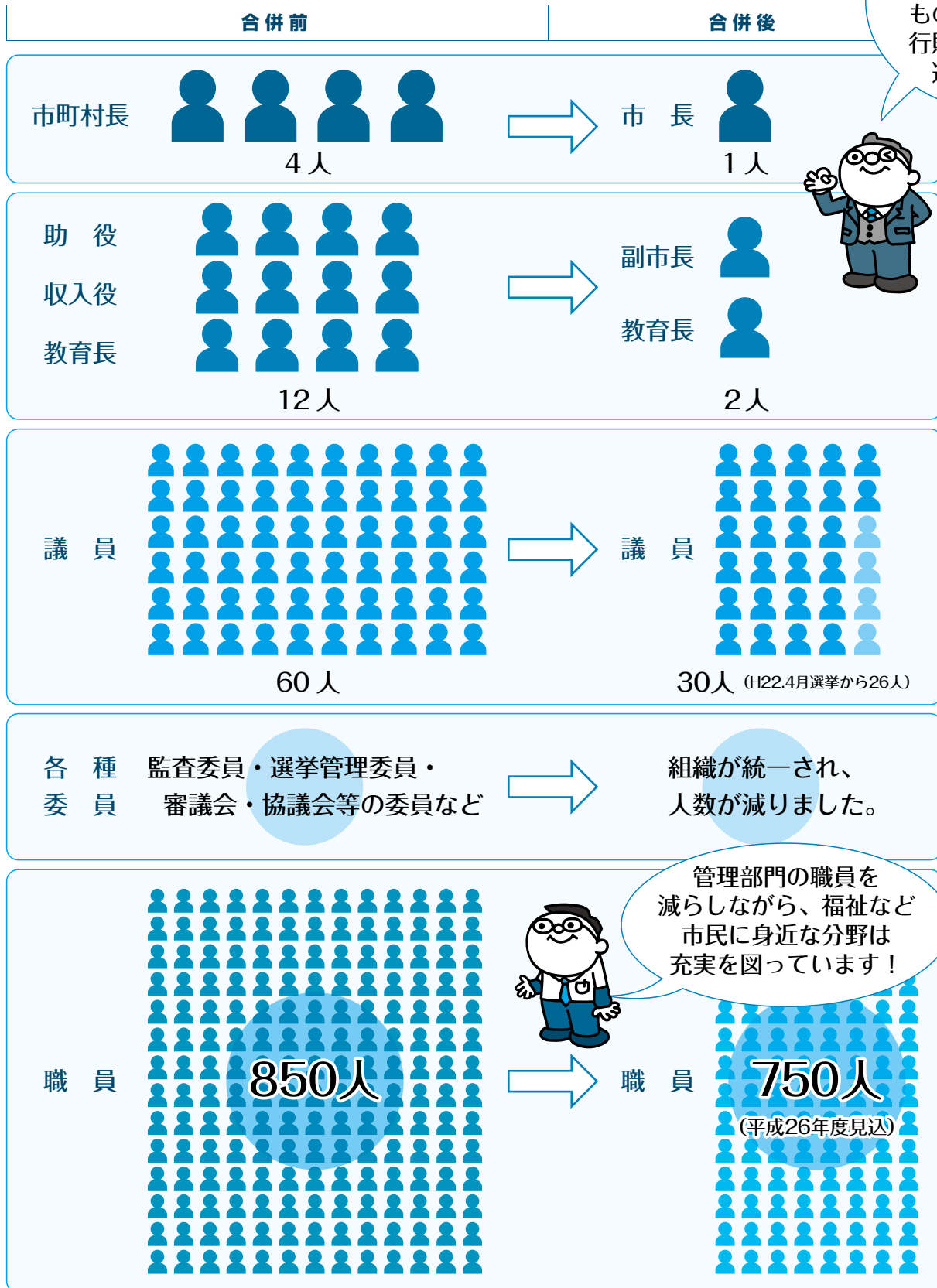


合併により、人件費をはじめ、大幅な経費節減が実現しました!

人件費の節減

※一定の条件による試算(値)です。

それぞれの市町村が別々に行っていたものをまとめて、行財政の効率化も進みました!



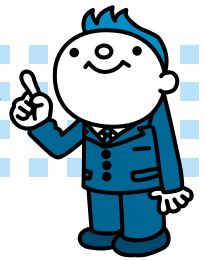
管理部門の職員を減らしながら、福祉など市民に身近な分野は充実を図っています!

人件費の節減額……

10年間で約100億円



合併した効果を最大限に活かして、
自治体としての体力を強くしているんだね！



経費の節減などが
10年間で
約140億円！

チャレンジ 80 プラン等による
経常経費の削減

削減！

10年間で約15億円

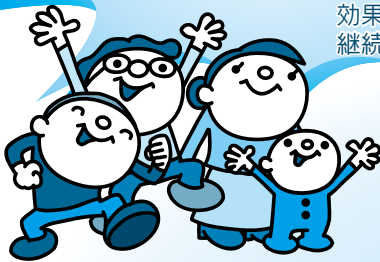
効果は10年後以降も
継続します。



ダム関連収入増等

増収！

10年間で約25億円



140億円といえば、
とても大きな金額だね！



節減で生まれた効果は、
道路、学校、公園の整備や
子育て支援・元気長寿のまちづくりに
生かされるんですって！



経費節減により生み出された財源は、未来を担う「人づくり」
施策に、重点的に投資しています！

◆教育施設の充実

●合併した自治体のみ認められる有利な「合併特例債」を学校の建て替えなど、真に必要な事業に使って経費を節減しています。



高篠小新校舎（イメージ）

主な学校建設事業

- 荒川中体育館
- 秩父第一小校舎改修
- 秩父第一中校舎
- 吉田中校舎
- 荒川東小校舎
- 高篠中体育館
- 南小プール
- 高篠小校舎

総事業費 約68.2億円

秩父市が合併しなかった
場合の負担額 約36億円

市の実際の
負担額 約17.6億円

経費節減により
生み出された
財源を重点投資



合併したことで、
国の支援が大きくなり
市の負担が大幅に
軽くなりました！

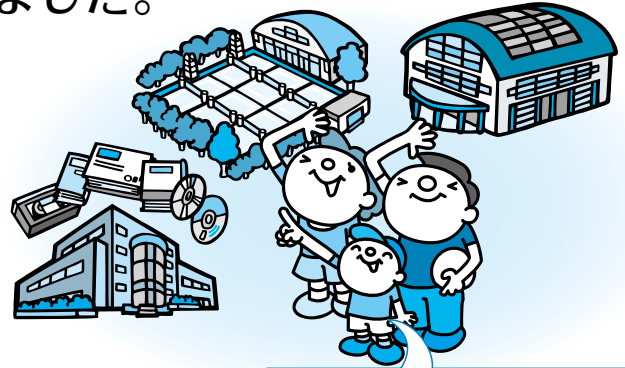
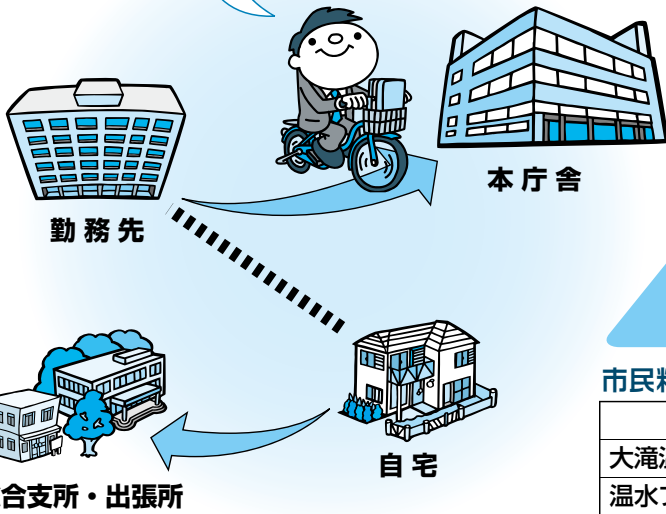
合併してよかった!

市民サービスの向上

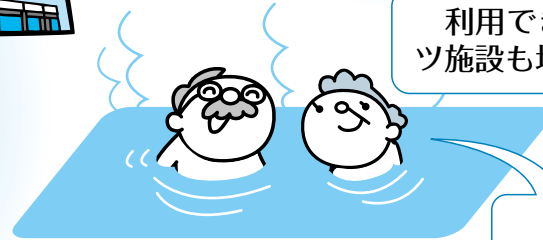


合併により、公共施設やサービス窓口が増え、便利に利用できるようになりました。

今までなら休みを取って役場まで行かなければなりませんでした。今はお昼休みに本庁舎窓口で用事を済ませられるようになりました。



利用できる文化・スポーツ施設も増えたよ!



市民料金がお得な公共施設（一例）

	市民料金	一般料金
大滝温泉(遊湯館)	400円	600円
温水プール	400円	600円
市営グラウンド	無料	半面2時間 2,000円

大滝温泉(遊湯館)がお得な市民料金で利用出来るようになって「ああ〜極楽 極楽!」



合併により、組織が充実し、より良いサービスを提供できるようになりました!

◆専門性の高い組織の配置

環境を守るために!

環境農林部(17年度~)
地域エネルギー・環境対策課(20年度~)

安心・安全な暮らしを守るために!

危機管理課(17年度~)
ダム河川課(17年度~)
医療保険年金局(20年度~)
地域医療対策課(20年度~)

教育を充実するために!

教育研究所(17年度~)
保健給食課(17年度~)

より専門的で、きめ細やかな仕事を行えるかたちになりました!



◆県内市町村権限移譲ランキング

※政令市(さいたま市)を除く

移譲率順位	団体名	移譲対象事務数A	移譲済事務数B	移譲率(%) A/B
1	久喜市	76	73	96.1
2	秩父市	77	72	93.5
3	騎西町	72	66	91.7
4	八潮市	77	69	89.6
5	所沢市	109	97	89.0

平成21年4月1日~(予定)

69市町村中 第2位!

これまで県が行っていた仕事を市で引き受ける力がついたのでね!
地域のことを地域で決められるようになったの!



市役所でのパスポート交付の実現も目指しています。

合併してよかった!

3 便利で快適な暮らし



合併により、公共交通網が充実しました!
また、道路や橋、合併浄化槽などの整備も着実に進んでいます!



桜井橋 (市道吉田幹線1号線)

吉田太田部地区

「まごころ号」の運行開始



今までバスが走っていなかった所でも利用できるし、通院や買い物に出かけやすくなりましたよ!



吉田・大田・尾田蒔地区

路線バス「秩父吉田線」の運行開始

清流を守るため、合併浄化槽の整備方式を統一しました!



直通路線ができて、通学がとっても便利になったよ!



吉田・大田地区

デマンド乗合タクシーの運行開始

原谷・久那地区

「お出かけ楽々バス」の運行開始



平日も三峰地区までバスが走るようになりました!

大滝地区

路線バス「三峰神社線」の平日運行開始

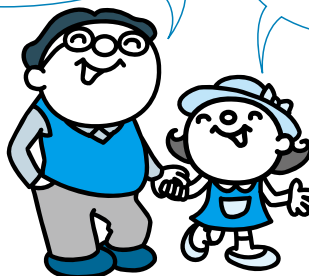
浦山・影森地区

市営バス「ぬくもり号」の運行開始



通学の足も通院・お買い物の足も守ります!

新市全域を対象に計画が認定されているから、有利な国の交付金を活用することが可能になったんだよ。



携帯電話の通話エリアも広がったね!



携帯電話基地局 (浦山川俣) ※市で整備



市道大滝幹線4号線

合併して
よかった!

安心・安全



合併により、防災体制がこれまで以上に充実しました!

◆県内市町村別消防団員数ベスト5

順位	市町村名	団員数(人)
1	さいたま市(政令市)	1,218
2	秩父市	1,120
3	小鹿野町	591
4	熊谷市	507
5	鴻巣市	422

平成19年4月1日現在

政令市をのぞいて
いずれもナンバーワン!

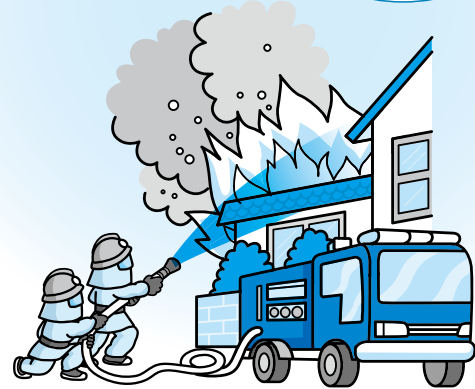


消防団同士の
連携も深まり、
地域の防災力
アップにつながり
ました。

◆消防団車両保有台数ベスト5

順位	消防団名	消防団車両計(台)
1	秩父市消防団	90
2	さいたま市消防団(政令市)	62
3	越谷市消防団	43
4	小鹿野町消防団	39
5	熊谷市消防団	30

平成18年9月1日現在



合併により、地域医療体制の充実が進んでいます!

地域医療体制の充実

- 救急医療体制の堅持
- 医学生等奨学金貸付事業の創設
- 医療保険年金局、地域医療対策課の設置

将来秩父市で働いてくれる医師を確保したり、地域医療ネットワークを強化したりして、安心して暮らせるまちづくりを進めているんですね!



地域の中核病院としての市立病院の機能充実を図っています!

市立病院の機能充実

会計待ち時間短縮のために
受付・診療・会計の電子化

市民の生命を守るために
救急専用施設の整備

待ち時間が
かなり短くなって
助かります!



大瀧国保診療所・浦山出張診療所の堅持に努めています。

合併して
よかった!

交流と賑わいの地域づくり

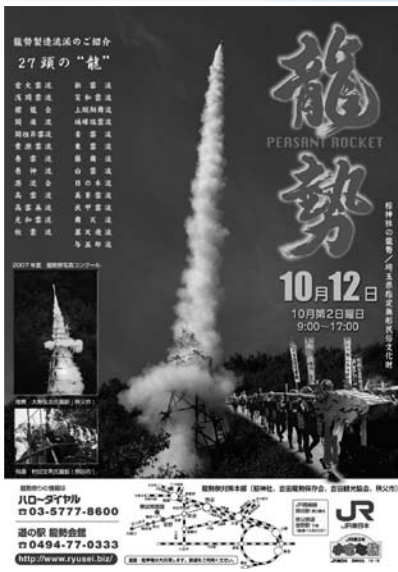


合併により、市内の交流がより深まりました!
また、秩父の魅力を広くPRすることで、地域のイメージアップ
が図られました!

同じ市になって、
お互い身近に
になりましたね!



●川瀬祭に吉田の子どもたちが参加



●吉田の龍勢JRポスター掲示



●大滝紅葉まつりJRポスター掲示

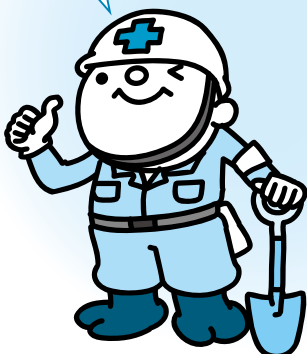


龍勢のポスター
を初めてJRの駅に
掲示するなど、
秩父の多彩な魅力
を広くPRして
いるんだね!



合併により、ビジネスチャンスが広がりました!

市の面積が広がって、
公共工事に参入する
チャンスも広がったね!



同じ市内業者として
登録・参加できるようになって、
市民対象の営業チャンスが
広がりました。

合併して
よかった!

まち輝き むら際だつ まちづくり



合併により、それぞれの地域の個性を活かし、バランスのとれたまちづくりが進んでいます。

吉田地域



複合型老人福祉施設 「ひだまり」

上吉田小学校跡地に、デイサービスセンターと生活支援ハウスが整備されました!



太田部地区「まごころ号」

社会福祉協議会との協働により、藤岡市までの通院の足が確保されました。

吉田中改築、桜井橋架け替え など…

合併したことによって、広い視点でまちづくりを進められるようになったんだね!



旧秩父市地域についても、市の中核エリアとして、着実に整備を進めています!

大滝地域



滝沢園地サイクルパーク

BMX(バイシクルモトクロス)コースを整備し、滝沢ダム周辺地域の活性化を進めています!



観光トイレの整備

地域を訪れる多くの観光客に快適に利用してもらうため、各地に設置を進めています!

図書館大滝分館のネットワーク充実、三峯直通バス平日運行 など…

荒川地域



ちちぶ花見の里

団体客用のそば処として、また「そばの花見まつり」等イベントの会場として、地域の賑わいづくりに一役買っています!



荒川東小学校の改築

平成20年度中の竣工を目指して、順調に工事が進んでいます!

(仮称)あらかわ格技場の整備 など…

今後も輝き続けるために

今回の合併検証に際して、さまざまな合併の効果が現れていることにつきましては、関係者の方々のご尽力の賜物と感謝申し上げます。

平成14年度から、国の『三位一体の改革』による地方財政改革が、平成の大合併と期を同じくして進められてきました。

『三位一体の改革』により国の補助金、交付税の削減等が行われ、全国の市町村が、住民サービスの見直し、負担の増加を余儀なくされましたが、合併した市町村では、これを住民の方が「合併してサービスが悪くなった・負担が増えた」と、合併のみによる影響と認識されている部

分があると専門家は分析しています。

このような状況の中では、素晴らしい合併の成果というのは、単に合併さえすれば、ただ待っていればバラ色の未来がやってくるというものではなく、市民全体の継続的な取り組みの結果として初めて生まれてくるものと考えられます。

今後も合併による諸条件を最大限に活かして、市民の皆様とともに、創意工夫を重ねながら、『助けあい 温もりのまちづくり』を進めてまいります。

◆お気軽にご意見をお寄せください。

編集：市長室 政策行革課

電話：22-2202 FAX：24-7272

[Eメール] gyokaku@city.chichibu.lg.jp